EA304VA(ホットナイフセット)取扱説明書

この度は当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きますようお願いいたします。

◆仕様

・電源…AC110-120V
・消費電力…30W
・こて先温度…565℃
・ウッドクラフト、レザークラフト、プラスチックの切断等、
　様々な用途にお使い頂けます。
・昇圧トランス(EA815ZG-1等を)併用して、電圧を補って下さい。

<セット内容>
・スタンド、こて先(先端チップ)5種、先端チップケース

◆各部名称

スタンド

◆取扱方法

先端チップを用途に合わせて付け替えます(ネジ式)。

(取り外し)

(取り付け)

※注意
ご使用後、先端チップが高温の場合、付け替える際は必ずペンチ等を使って取り外して下さい。

警告

・本機器は極度の高温になります。
**　重度のやけどの原因になるため、先端チップやシャフトは触らないでください。**
・使わないときは本体を必ずスタンドに置き、テーブルや作業台が焼けて損傷することを防いでください。
・保管する前には、必ず完全に冷ましてください。
・本体に固着しないよう、先端チップはご使用の度にペンチ等を使って取り外してください。

1. ウッドバーニング

ウッドバーニングとは
先端チップを使って木を焦がし、絵や模様を描く技法のことです。
図案を木に転写して、それをチップでなぞって描く手法なら、
初めての方でも簡単に作品を作ることが出来ます。

ウッドバーニングで作られる美術作品
単調な線描きだけでなく、本物のような動物の毛並みや写真模写など、繊細な表現をすることもできます。
手軽なクラフトから本格的な作品制作まで楽しめる奥の深い技法です。

(以下のような使い方をお勧めしております。ご参考ください。)
・表面が美しい仕上がりにするには、細かい木目の軟材が最適です。
　バズウッド材やクルミ材、杉材が推奨されます。
　これらは簡単に焦がすことができ、特にバズウッド材は自然で美しい背景色になり、
　どのような図案にも深みを与えます。
・実際の作業をする前に、ツールの感覚と、安定した動かし方を身につける練習時間を取ってください。
・まずは直線の多いシンプルですっきりした図案から始めてください。カーボン紙を使い、
　木材の上で図案を軽く転写します。
　上達に合わせて複雑な図案に移行してください。
・使用する際は、必ず先端を自分の方に向けて動かしてください。
　先端を手前に動かすことで、先端の制御が楽になり、焦がした線が均一になります。
・本体を強く握らないでください。指が疲れてしまいますので、軽く持ってご使用下さい。
・濃い線にしたい時は、ゆっくりと本体(先端チップ)を動かし、薄い線を書く時は素早く動かします。

2. レザークラフト（皮革工芸）

レザーに図案を焦がしこむときも、「ウッドバーニング」のテクニックを使います。
レザーは非常に早く焦げますので、先端をレザーにあてるときは特にご注意ください。
非常に軽い圧をかけ、焦がしすぎないように先端を素早く動かします。

3. カッティングとヒュージング／パターン（型紙）カッティング

発泡スチロールの切断やロープを溶かして切断するには、ナイフの刃先を使用します。
ナイフを使う前に、刃先（先端チップ）をよく加熱しておきます。

4. ステンシルカッティング

ステンシル（型紙）を滑らかで固い、耐火性のある表面（ガラス、アルマイト処理されたアルミニウムなど）に置きます。
カットの際は、切断線上でチップを自分の方（手前）に動かせるよう、図案を配置します。
使用する際は、必ず先端を自分の方に向けて動かしてください。
先端を手前に動かすことで、先端の制御が楽になり、結果的にきれいに切り抜くことができます。
特定のステンシル（型紙）に対してチップが熱すぎる場合は、本体のプラグを抜き、
熱を冷ましてからご使用下さい。

5. 半田付け

素早く正確に半田付けする為には、清潔でよくティニングされた先端部が必要です。
・金属面の清掃には、やすりやスチールウール、サンドペーパーを使ってください。
・先端のティニング。ティニングとは半田付け性を向上させる為に、下地金属に溶融半田を塗布することです。
　先端が高温になったら、やに入り半田を先端チップに、完全にコーティングされるまでこすりつけます。
　半田の余剰分は濡れたスポンジで拭き取ります。
　ティニングしていない先端では、対象物に適切に熱を伝えられません。
　さらにティニングは、害のある酸化物が先端に形成されるのも防ぎます。
　半田付けの際は、半田を先端へ余分に塗布し、先端がティニングされるようにします。
　使用後は、先端チップのクールダウン時に、「錫めっき」が施されます。
・半田付けの前に、作業対象物を機械的に接合させて接合部を強化してください。
　半田付けの間は、対象物を動かさずに持ち、突合せ接合またはラップ接合の場合はクランプなどの
　留め具を使います。
・金属部を先端チップで加熱し、半田が溶けるほどの高温になるまで加熱し続けます。
　加熱した金属の接合部（先端ではなく）にやに入り半田を塗布し、接合部に半田が流れ込むようにします。
　接合部に半田が流れ込んだら、金属部の加熱を止めてください。
・接合が固定するよう、移動する前に金属部を冷まします。
・半田付けが終わったら、本体のプラグを抜いてください。

◆作業場所

・作業場は清潔に保ち、明るくしてください。散らかった、あるいは暗い作業場は、事故の原因となります。
・可燃性の液体やガス、塵、乾いた草や葉、紙などのある環境下では、本機器を使用しないでください。
　本機器は高温を発する為、塵や気体に引火することがあります。
・乾いた草や葉、紙などの可燃物は焦げて発火することがあります。
・本機器は必ずよく換気された作業場でお使いください。
・子供や動物は作業場所に近づけないで下さい。

◆電気に関する安全
・本機器のプラグを電源に差す前に、供給電源の電圧が銘板記載の電圧と適合していることを確認してください。（差が10%以内）
供給電源の電圧と銘板の電圧が適合していない場合には、重大な危険と本機器の損傷につながります。
・本機器を操作する際は、回路か電源にGFCI（漏電遮断器）をご使用ください。
また本機器を雨等、濡れる環境にさらさないで下さい。水が入ると感電する危険があります。
・コードを乱用しないでください。
本機器の持ち運びや、コンセントを抜く際は、コードを引っ張って使用しないで下さい。
コードを熱や油、鋭利な物や動く部品に近づけないで下さい。また傷んだコードは直ちに交換してください。
傷んだコードは感電の危険があります。
・屋外で延長コードを使って本機器を操作する際は、屋外型延長コードをご使用下さい。
感電リスクが減少します。

◆個人の安全
本機器を誤って使用すると、重大な人身事故を招くことがあります。
・薬物、アルコール、医薬品等を服用して本機器を操作しないで下さい。大変危険です。
疲労しているとき、または薬物を服用しているときや飲酒状態のときは本機器を使用しないで下さい。
常に自分の行動に注意を払ってご使用下さい。
・作業者は怪我から自身を守る為にも、適切な保護具を身につける必要があります。
保護めがね（ゴーグル）は常に装着して下さい。
・高温になった先端やシャフトを衣服や手など体に向けないで下さい。
先端やシャフトからの高熱により、重度のやけどや衣服の発火を起こすことがあります。
・シャフトやシールドは完全に冷めるまで触らないでください。使用中に非常に高温になります。
・適切な服装をして下さい。ゆったりとした服やアクセサリーは着用しないで下さい。
・長い髪の毛はまとめてください。 髪や体、衣服、手袋をシャフトやシールドに近づけないで下さい。
極度な高温で衣服や髪が発火することがあります。
・常に足下を安定させ、必ずバランスを取りながら作業して下さい。
足下とバランスを適切に保てば、不意の事態でも本機器を危険から回避することができます。

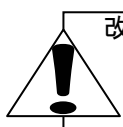
◆機器の使用とメンテナンス
・メンテナンスをする前に必ずプラグをコンセントから抜いて下さい。
・使っていない本機器は適切な冷却時間をおいた後に、子供や訓練を受けていない人の手が届かない場所に保管して下さい。 また、保管する際は高湿の場所を避けて保管して下さい。
・動作中やクールダウン中、本機器を放置しないで下さい。
動作中やクールダウン中に先端が周りのものに触れないよう、常に平らで水平な面に置いてください。
・緊急時に備え、完全に充填された火災消化器を常に手元に置いて下さい。

◆修理
本機器の修理は、資格のある修理担当者が行わなければなりません。
有資格者以外による修理では内部の回線や部品の誤配置が起こり、大きな危険を引き起こすことがあります。

警告

電動工具での粉砕や切断、研磨、穿孔などの建築作業から生じる粉じんの中には、
癌や出生異常、その他の生殖危害を起こすことが知られているものがあります。
（下記の化学物質参照）
- **鉛ベースの塗料**
- **ブロックやセメントなどの石造製品**
- **化学処理済み木材から生じたヒ素やクロム**

この種の作業を行う頻度により、暴露から生じるリスクが変化します。
これらの化学物質への暴露を抑制するには、よく換気されたエリアで、
微細粒子を除去するように設計された防じんマスクなどの、
認証を受けた安全機器を使用して作業して下さい。

本説明書は保管して下さい。

改造はしないでください。
・本機の寿命を著しく損ねる場合が有ります。
・ご使用者が怪我をする場合が有ります。
・作業工程に支障を来たす場合が有ります。

株式会社 エスコ
本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀３－８－１４
TEL：(06)6532-6226　 FAX：(06)6541-0929